

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第27週の発生動向

トピックス

- 新型コロナウイルス感染症(指定感染症)の報告が1例あった(県内18例目)。

全数報告の感染症(27週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症: 報告なし。
- 2類感染症: 結核5例。
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症2例。
- 4類感染症: 報告なし。
- 5類感染症: クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒1例、破傷風1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	—
			40歳代	女	無症状病原体保有者	—
			40歳代	女	無症状病原体保有者	—
			50歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	50歳代	女	—	腹痛、水様性下痢、血便、O26(VT1)
		高鍋	80歳代	女	—	水様性下痢、O26(VT1)
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	都城	60歳代	男	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病 診断の確実度: 疑い	進行性認知症、ミオクローヌス、視覚異常、記憶障害、精神・知能障害
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	ショック、腎不全、中枢神経症状
	梅毒	日向	30歳代	男	早期顕症梅毒(I期)	硬性下疳
	破傷風	宮崎市	70歳代	男	—	開口障害、嚥下障害、発語障害

指定感染症(27週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	40歳代	男	発熱、咳

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は320人(定点当たり8.9)で、前週比92%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

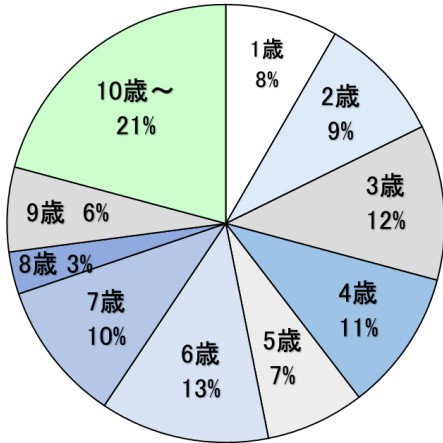
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は96人(2.7)で、前週比112%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約1.1倍であった。宮崎市(5.1)、延岡(4.3)、日南(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【感染性胃腸炎】

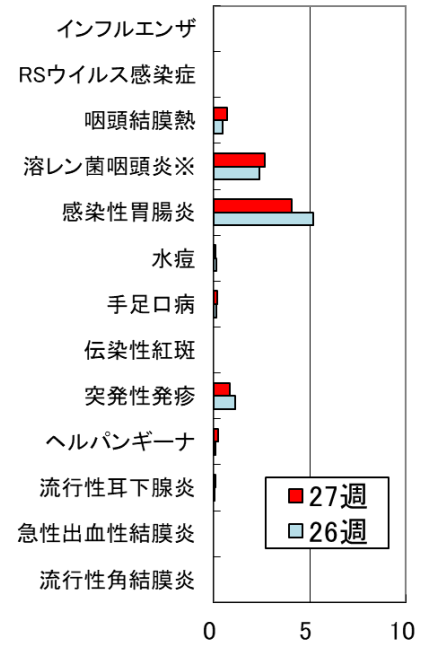
報告数は146人(4.1)で、前週比78%と減少した。例年同時期の定
点あたり平均値*(7.2)の約0.6倍であった。小林(8.3)、日南、日向、
中央(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月～2歳が全体
の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



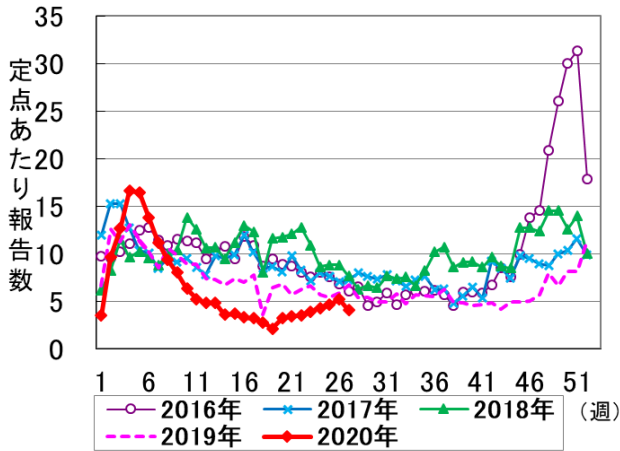
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
年齢群別割合

《前週との比較》

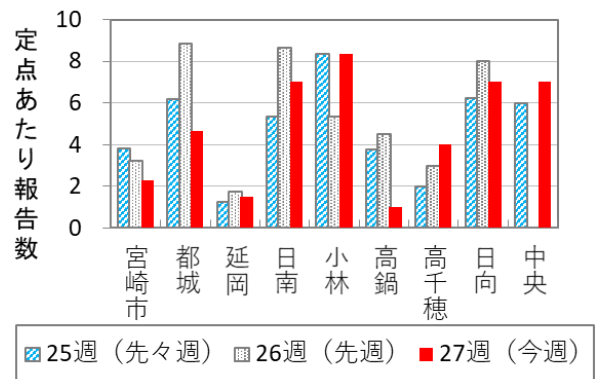


定点あたり報告数
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ 報告なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年7月6日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
<i>Salmonella</i> Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	0～4歳	女	2020.6.16	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.6.25
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	5～9歳	女	2020.6.15	発熱(39.7℃)、胃腸炎(水様性下痢、血便)	便	2020.6.23
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	5～9歳	男	2020.6.22	発熱(39.2℃)、胃腸炎(嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2020.6.26
EHEC(O157:H7 VT1,2)	10歳代	女	2020.6.24	胃腸炎(水様性下痢、血便)	便	2020.6.30

今年度初めて、腸管出血性大腸菌（EHEC）O157:H7、VT1、VT2 が分離された。腸管出血性大腸菌感染症は、発熱、腹痛、嘔吐、血便等の症状を呈し、一部の患者では脳症やHUSを合併することがある。また、他の感染症に比べ、100個程度の少ない菌量で感染が成立することから、調理前・食事前等の十分な手洗いが大切である。加えて、EHECは、75℃1分の加熱で死滅するため、食品の十分な加熱によっても予防することができる。

★ウイルス 報告なし。

🇯🇵 全国 2020 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 26 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	267 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	77 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例	日本紅斑熱	10 例
	レジオネラ症	67 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性脳炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	10 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	9 例
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	72 例	播種性クリプトкокクス症	4 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	15 例	風しん	3 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS））へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 109%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、ヘルパンギーナとA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘と手足口病であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,687 人(0.9)で前週比 118%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (2.7) の約 0.3 倍であった。鳥取県(3.0)、宮崎県(2.4)、福岡県(2.3)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 4 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 6,333 人(2.0)で前週比 109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (5.5) の約 0.4 倍であった。宮崎県(5.2)、大分県(4.3)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第27週(06月29日～07月05日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	17	25	6	9	5			2		2	1
	定点当り	0.47	0.69	0.60	1.50	1.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	86	96	51	6	17	12	2	2	1	5	
	定点当り	2.39	2.67	5.10	1.00	4.25	4.00	0.67	0.50	1.00	1.25	0.00
感染性胃腸炎	報告数	187	146	23	28	6	21	25	4	4	28	7
	定点当り	5.19	4.06	2.30	4.67	1.50	7.00	8.33	1.00	4.00	7.00	7.00
水痘	報告数	6	3	2		1						
	定点当り	0.17	0.08	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	6	7	2	2		1				2	
	定点当り	0.17	0.19	0.20	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	41	31	11	1	1	4	1	5		4	4
	定点当り	1.14	0.86	1.10	0.17	0.25	1.33	0.33	1.25	0.00	1.00	4.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	9	1		8						
	定点当り	0.11	0.25	0.10	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	3				1				1	1
	定点当り	0.06	0.08	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～27週)

2類感染症	結核	92例(5)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(2)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	2例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例(1)
	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	7例(1)
	破傷風	3例(1)	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	18例(1)		

()内は今週届出分、再掲